

報 告 書

開催日時	平成26年10月7日(火) 19時30分～21時25分				
自治協議会名	阿波地域住民自治協議会	開催場所	阿波地区市民センター		
出席議員	稲森稔尚、嶋岡壯吉、木津直樹、岩田佐俊				
	司会者	岩田佐俊	記録者	嶋岡壯吉	報告者
参加人数	27名				

【主な意見・提言等】

○さるびの温泉の今後の運営について

- ・さるびの温泉は将来、大山田地域の核となるものであるので残したい。
- ・大山田の3地域で売却も含めて協議してきたが、民間で引き取ってくれるところもないように思われる。本年度で指定管理が切れるが、地元も協力するので残していく方向で検討して欲しい。

○庁舎整備について

- ・百年の計を考えれば四十九町に移転することになってよかったと思われる。
- ・市が活性化するためには市街地を整備し、外からの客を呼び込むことが必要である。また、そのためにも交通網の整備を急ぐ必要がある。
- ・支所がしっかりと役目を果たせば、本庁はどこにあっても問題ない。
- ・本庁に行くのは一部の市民であるのでそれほどの問題はなく、それよりも近くにスーパー等の店がない地域のために、買い物に行くための公共交通機関を整備して欲しい。

○災害に強い地域づくりについて

- ・市の対策は、国や県のをコピーしたようなものばかりで、本当に地域に合ったものを
- ・市の指定した避難場所は、災害時に本当に使用可能なのか。
- ・ハザードマップに阿波地区が掲載されていない。被災した場合、支所周辺を中心とした復興が進み、山間地は後回しになってしまう。
- ・災害時の交通路の確保のために、国道163号とは別の道路が欲しい。
- ・馬野川発電所の再生プロジェクトを立ち上げたので、議会もバックアップして欲しい。

○その他

- ・公共施設の最適化について、採算性のみを考えて処理していくのはいかがなものか。
- ・地区市民センターの自治センター化について、すべて地域に任せる形で進めて欲しい。費用対効果ばかりを前に出して議論して欲しくない。
- ・学校の設備等について、市内で差が生まれないように、統一した最低限のラインを設け、それに達していない学校から優先的に整備して欲しい。

伊賀市議会議長 様

平成26年10月 9日

議会報告会実施要綱第10条第1項の規定により提出します。

平成26年度議会報告会3班

班長 稲森 稔尚

報 告 書 (別紙)

開 催 日 時	平成26年10月7日 (火)	議会報告会3班
---------	----------------	---------

自治協議会名	阿波地域住民自治協議会	
--------	-------------	--

【主な意見・提言等】 「議会報告会のあり方」について

・今のままで良い。開催単位が大きくなり人数が増えれば、発言しにくくなる。

・

・

・

・

・

・

・

・

・

・

・

・

・

・

・

・

・

・

・

・

・